

みかみ修の意見1 東海村には健康増進施設が必要！

「東海村の施策は若者に手厚いが、高齢者には冷たい」というお叱りのお言葉を頂戴することがあります。実際には、他のまちも羨む警備保障会社委託の高齢者見守りシステム、デマンドタクシーや東海村路線バス、診療時のタクシー利用補助などなど本村独自の事業もありまして、東海村の高齢者福祉はなかなか充実していると感じます。

一方、村がやるべきことは、高齢者のみならず年代を超えた健康増進施設の確保と希望の多い合同埋葬施設の建設。これらは、多くの村民からご要望が寄せられています。

みかみ修が健康増進施設の建設を考えるとき、必ずしもこの東海村内で箱を作るような対応は不要とも感じます。

どうせ小さな村なら、隣のまちの施設を使わせてもらえばよいと考えます。村内の交通事業者を活用して、近隣の施設に乗り入れる、このような事業も今の時代からは広域連携が必要です。皆様のご意見はいかがでしょうか。



東海村から近い温泉施設

みかみ修の意見2 東海村の次の目玉事業は？

東海村の代名詞は、ほし芋と原子力施設であることは言うまでもなく、ほし芋の生産はまさに飛ぶ鳥を落とす勢い。私が尊敬するこのまちの名士曰く、「東海村は東海発電所の建設で発展した、寒村を発電所が輝かせた」。本村は素晴らしい発展を遂げました。

みかみ修は、「東海村の次世代を担う事業は何ですか？」と問い合わせます。ほし芋は高齢化の波が押し寄せて長く続かないかも知れない、東海第二は対策工事が完了して、安全が確認されたら運転に入って首都圏と東北の電力不足を助けるでしょう。



次の世代は、君たちの出番

東海村の次の目玉として、例えばシャインマスカットのような高級な農作物はかなり有望、そして先進技術という意味では、日本の原子力発電技術をリードし続けるこのまちの発電事業者に、小型モジュール炉：SMR の実証試験を担っていただきたい。この仕事ができるのは、多くの技術者が集まる本村が好適。

とかく金持ちと言われる「東海村」、実は非常に管理費が大きい自治体のせいか、こどもたちの給食費の無償化も実現していないのです。東海村の将来像を考えて参ります。

お越しください にじいろカフェ 須和間北交差点

東海高校、東海南中学校を過ぎてフローレスタ須和間団地方面に走ると、須和間北交差点にある特徴的な屋根の施設は、NPO 法人まつぼっくり（障がい者就労支援施設）です。ここに併設されている「にじいろカフェ」には、とても素晴らしいランチを提供しています。週替わりのランチメニュー、そしてコーヒーとソフトドリンクももちろんOK！です。

障がいの壁を越えて、社会に溶け込み頑張る仲間のおもてなしはこれまた格別。彼らとともに生き、ともに成長するこれからの中のあり方に思いを馳せながらの昼食、私たちに至福の時間を与えてくれます。



メニューは
ここから



特徴的な屋根のまつぼっくり
(須和間北交差点)

この村政報告書は、営利や勧誘を目的としたチラシ、ダイレクトメールではありません。

みなみ風

Minamikaze Vol. 10

東海村議会議員 みかみ修後援会村政報告 2023年新春号

TEL: 090-1837-3989 e-mail: mikami_osamu@nifty.ne.jp



みかみ修
フェイスブック



新年あけましておめでとうございます。今年が皆様にとりまして、穏やかでありますように全力で取り組んでまいります。東海村議会議員を拝命し早くも4年目を迎えます。この間に議員として多くの勉強をさせていただきました。1期目の仕上げに向けて、皆様に寄り添いながら本村の発展のために邁進して参りますので、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

12月議会定例会のトピック

- 一般会計・特別会計令和4年度補正予算を可決
- 社会福祉施設等物価高騰対策事業を可決
- 11人の議員が一般質問で村政を問う

【一般質問】今冬の電力不足と電気代高騰対策は？

【連載】エネルギー・アイ みんなの電気 第8回

太陽光は必要、でも、本当の問題は発電事業の持続性

みかみ修の議会一般質問

皆様の議会傍聴を心からお待ちしております

・村松北と須和間地区の買い物対策

村松北のスーパー跡の動向と須和間地区のスーパー出店について聞きました。

詳細は、1月 25 日発行の「東海村議会だより 51 号」をご参照お願いします。

・中学生の地域活動参画による社会教育実施

去る 10 月に行われた守谷市への広域避難訓練により、村民の避難先 3 カ所全ての避難訓練が完了。この避難訓練でひと際輝いていたのが村内小学 6 年生の行動。避難行為では当たり前ですが全員着帽で臨みました。将来、中学生を地域活動に参画させることは、教育の充実と地域の発展に資すると訴えました。

・コロナワクチンの接種率向上対策

本村のワクチン接種は、他の地域に比べてスムーズに行われています。経口薬も漸く承認されたものの、今後も感染症の蔓延が予想されることから、ワクチン接種は極めて重要。

接種率の低い若年層には、重点的な呼びかけを要望。

・今冬の電力不足と電気代高騰対策

正月明けに寒波が来ると、電力不足や大停電になることから、政府は早くから節電を呼び掛けています。春には電気代の改定も予定されています。合計 375 万キロワットの出力を誇る電源立地である東海村の対策を聞きました。



12月議会一般質問内容
QRコードをスマートのカメラで読み込んでください



みかみ修は、マスクとタブレットで一般質問

エネルギー・アイ 明るい未来の みんなの電気



第8回 太陽光発電は必要、でも、本当の問題は発電事業の持続性



東海村の面積は約 38km² で、山手線の面積 65km² の約 6 割です。こんな小さな街で **375 万キロワット** 大きな発電が行われておりますが、**これを太陽光発電で賄うと** どのくらいの面積が必要になるでしょうか。

答えは、**山手線の面積の 3 倍以上必要** ですのと、太陽光発電だけで今の生活水準を維持できると主張する方もおられます、現時点では現実的ではないと考えられます。

原子力発電所は、発電過程で二酸化炭素を出さないほか、とても小さい面積で大きな出力が得られるのが特徴。

安全のために確保すべき敷地面積が小さいため、監視や保守作業が容易で確実となるメリットもあります。本来は、供給信頼性の高い安全な電源であると言うことができまし、発電所が寿命を終えて設備を廃棄する場合は、管理する物量も劇的に少ない。

一方、太陽光パネルの廃棄もまた問題が残っていますが、**太陽光発電で一番問題となることは、発電事業の持続性** です。**多くの民間企業が参加する再生可能エネルギー事業は、電力会社のように責任をもって電気を届け続けることができるのか。** 太陽光発電は、民間も手を出しやすい手軽な発電方式です。その余り、安易に手を出して発電事業を行うときの持続性は不透明。社会が必要とする電気を必要な時に必要な量だけ作ることは、とても難しい技術。これを日本の電力会社が必死に守って来たからこそ、今の日本があります。太陽光発電は真に地球を救えるのか、今一度考える時が来ました。

議会を傍聴して

今号より議会を傍聴された方々をインタビューすることにして、このほど第1回を行いました。インターイビューアーは小野寺が担当。今回のインタビューに応えたNさん村松北区の男性。

Q：議会傍聴のきっかけは？

A：「みなみ風」がポステングされるので、議会のやり取りどんな様子かと思い傍聴。

Q：傍聴の第1印象は？

A：議員は礼儀正しく議会に入場、議場は厳粛な雰囲気でした。

Q：三上議員の印象は？

A：姿勢正しく指の先までピーンとしており、質問も現状の問題を把握したうえで具体的な対策を提案されており、執行部に文句を言うだけでなく、良いことは言いダメなことは駄目とは非を明確にしており好印象。

Q：議会に望むことは？

A：執行部の回答で「検討します」は、言いつぱなし、聞きっぱなしで終わらせないように、フォロアップを是非やっていただきたい。

ありがとうございます。

一般質問解説：今冬の電力不足と電気代高騰対策

東海村は、大きな電源を持つ自治体です。JERA 常陸那珂火力発電所が 200 万キロワット、同 常陸那珂共同火力発電所は 65 万キロワット、これに停止中の東海第二発電所が 110 万キロワットで、発電能力の合計は 375 万キロワットです。私の故郷の北海道の電力需給能力は約 500 万キロワットですから、実際に北海道全体で必要な電気の 4 分の 3 を東海村だけで賄うことができる、まさに東海村の矜持の所以。



村の電気と米は日本一
(撮影: 豊岡地区)

かかる状況において、今年の冬に予想されている電力不足は何故発生するのでしょうか。それは、東日本大震災以降大きな原子力発電所が軒並み停止に追い込まれるなかで、老朽化した火力発電所はフル稼働の状態、発電効率が悪く廃止しようとしていた発電所まで無理して稼働させているため、故障が起こると停電になるのです。

大規模な火力発電所の故障はいつ発生するのか予想が難しく、今年の冬は去年の夏以上に大きな停電が発生する可能性があり、春には電気料金の値上げも予定されています。東海村はどのようにこの難局を捉えて対応するのか、引き続き注視して参ります。

元駐在員が教える台湾の名所・名店

台北市の銀行街「南京東路」から一本入ったところに八德路という斜めに走る道路があります。この入り口にあるのが台灣菸酒（たばこ酒）会社のビール工場、建國啤酒廠建国工場。

敷地には売店があり、右の写真のように庭で出来たてのビールやその他の酒類を楽しむことができます。

大都会のビルの谷間にある正にオアシス、観光客が来ない穴場中の穴場、空港の免税店ではなかなか買えない銘酒も販売しています。 南国の大気満点のフリースペース、



台北には茨城空港から信頼の翼タイガーエアで



大都会のオアシス
台湾ビール建国工場

何となく日本の統治時代を感じさせるような商品も並べられ、都会のオアシスで暫しゆったりした時間をお楽しみいただけます。

「乗せてやれよ～」のこころ、大人が創る未来

去年 10 月 1 日に大神宮・村松山虚空蔵堂で盛大に行われた「大空マルシェ」で、みかみ修は幌馬車の乗車をお手伝い。多くのスタッフにより整備した見事な砂のスロープをトラクターが引く幌馬車は、大変な人気で、大人も子どももがあとを絶たない盛況。

それでも、終了時間に近づいた夕方には乗車希望の方がまばらになり、何度も乗車したお子さんもおられました。終了に近づいたときに何度も乗ったお子さんが「もう 1 回乗りたい！」とのご要望。このとき、多くのスタッフは「もう、何度も載っているので・・・」と心の中で思っていたことでしょう。

偶然居合わせた紳士がスタッフに「乗せてやれよ～」とご発言。あの子たちが大人になって社会を支えようとするとき、大きな気持ちで未来を創り続ける大人たちを思い出してくれるこことでしょう。令和 4 年の心に響いた一言に敬服。



赤い屋根の幌馬車は大盛況